

第2学年 特別の教科 道徳 学習指導案

1 主題構成表

主題名 おもいやりのこころ

資料名 ぐみの木と小鳥 (出典 光文書院)

<p>■内容項目 B—(6) 親切、思いやり 温かい心で接するよさを大切にし、思いやりの心をもって生活していこうとする。</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本内容項目の目指すものは、困っている相手に気付き、相手に自分を重ね、温かい心で接するよさを大切にし、思いやりの心を大切にする態度を育てることである。 ・幼い頃から人を大切にし、温かく接していく習慣を付けることが一人一人の児童に人と関わる力を育み、温かい社会をつくる人格の形成につながっていく。 ・身近な人に広く目を向け、自分自身もまたよりよく生きていこうとする中で、相手に対する思いやりは必要不可欠である。 ・思いやりの心というのは、相手の心の中を推し量って思いを及ぼし、相手をいたわり、進んで行動をするということであり、見返りを期待するものではない。 ・親切にした方も、された方も、互いに温かい気持ちになり、人間関係を和やかなものにしていけることの大切さに気付かせたい。 	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教材は、嵐という困難な状況の中で、小鳥はりすのことを思って飛び立とうとする気持ちと、嵐が怖い、行きたくないという気持ちが交錯し、小鳥の葛藤する気持ちを表している。 ・相手を思いやり、親切にしたことで感謝された小鳥の心に湧いた温かな気持ちに、共感させることができる。 ・「小鳥が嵐の中でさえも、りすにぐみの実を届けに行ったのはなぜか」を考える過程で、自分のことを後回しにしても、相手を思い行動を起こすことの大切さや価値に気付かせることができる。 ・自分との関わりが少ない人であっても、困っている人や弱い立場の人がいたら思いやりをもって、温かい心で接し、親切にすることの大切さに気付かせることができる。
<p>■内容項目から見た児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の落とした物を拾ったり、片付けが苦手な子に対して手伝ったりするなど、友達が困っていたら声を掛け、助けようとする姿が増えてきた。 ・自己主張が強く、些細なことで言い争いをする姿が時々みられる。 ・困っている友達に対し、見て見ぬふりをしてしまったり、自分と関わりが少ない友達に対しては、恥ずかしいなどの気持ちから無関心であったりする。 <p>■要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分中心に考えることが多く、周りや相手のことを考えず行動してしまう。 ・困っている友達がいても、見て見ぬふりをしてしまう。 		
<p>■ねらい 困っている人や弱い立場の人を思いやり、温かい心で接し、進んで親切にしようとする態度を養う。</p>		
<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親切にされた経験から、親切にしたときや、されたときの気持ちを想起させ、親切にはどのようなよさがあるのかを気付かせる。 ・毎日来ていたのに来なくなったりすの様子を気遣うぐみの木の様子から、自分たちの周りには、自分たちに気を配ってくれる人がいることに気付かせる。 ・小鳥が嵐の中、ぐみの実を持ってりすのところへ行く姿から、人を思いやる心情を深め、ねらいとする価値に迫る。 ・ぐみを受け取りりすの姿から、温かい心で接すると、互いの中に温かい気持ちが生まれることに気付かせる。 ・本時の学びや自分の経験を振り返ることで、自分自身の改善点を考え、みんなと楽しく活動するために相手を思いやり、進んで親切にしようとする心情を高める。 	<p>■基本発問 (◎中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「親切」にしてもらったことはありますか。そのとき、どんな気持ちになりましたか。 ○小鳥はぐみの木さんの話を聞いて、どんなことを思ったでしょうか。 ◎やみそうにない嵐の音を聞きながら、小鳥はどんなことを考えていたでしょうか。 ○りすに「ありがとう」と言われた小鳥は、どんな気持ちでしたでしょうか。 ○自分が親切にしたとき、相手が笑顔になったことはありますか。 	

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. 資料への導入を行う。 親切についての考えを話し合う。</p> <p>○ 「親切」にしてもらったことはありますか。そのとき、どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親切にされると嬉しい。 ・心がぼかぼかする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入で立てた問いを意識しながら教材を聞くように促す。
展開	<p>2. 資料から、思いやりの心と行為について考え、交流する。</p> <p>○ ぐみの木さんから話を聞いたとき、小鳥はどんなことを思ったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐみの木さんの代わりに、りすさんの様子を見に行ってみようかな。 ・りすさん大丈夫かな。 <p>◎ やみそうにない嵐の音を聞きながら、小鳥はどんなことを考えていたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嵐の中飛んで行くのは危ないけれど、りすさんのためにぐみの実を届けるぞ。 ・りすさんと約束したから行かなくちゃ。 ・りすさんのお家に行きたいけれど、嵐は怖いな。 ・今行くと、自分もけがをしたり、風邪をひいたりしてしまうかもしれない。 ・明日行けばいいや。 <p>○ りすに「ありがとう」と言われた小鳥は、どんな気持ちでしたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐみの実を届けてよかった。 ・りすさんが元気になってよかった。 ・「ありがとう」と言われて嬉しかった。 ・これからも困っている人を助けたいな。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「親切」は、しても、されても、笑顔になる。</p> <p>3. 相手のことを思って人に親切にした経験があるか聞く。</p> <p>○ 自分が親切にしたとき、相手が笑顔になったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落とし物を拾ったら、「ありがとう。」と言われた。 ・係の仕事を手伝ってあげたら、喜んでくれた。 ・けがをして泣いている1年生の子を、保健室に連れて行ってあげたら、「ありがとう。」と言われた。 	<p>「資料提示の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より状況が分かるように、ペープサートにして資料を読み聞かせる。 ・嵐の様子を効果音で表現し、小鳥の気持ちを想像させる。 <p>「表現活動の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小鳥になりきることで、素直な気持ちを引き出す。 <p>「話し合いの工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の立場を明確にすることができるよう、どちらの立場か挙手させる。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">☆深めの発問 無理に嵐の中を行かなくても、嵐がおさまってから行けばよいのではないか。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">相手の気持ちを考えて、自分にできることをするのが思いやりだということが理解できたか。</p> <p>「書く活動の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己を見つめ、ワークシートへ記述する。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">「思いやり・親切」について自己を見つめ、進んで親切にしていこうとしている。</p>
終末	<p>4. 「ぼかぼかの木」を見て、クラスには優しい心がたくさんあることを思い出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親切にするよさが心に残るような、ほっこりと余韻のある終わり方にし、実践への意欲につなげる。

3 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

<場の内容とねらい>

<日常活動>

<児童の意識>

<指導・援助>

学級活動
学級目標づくり

- 自分たちで考え、思いやりの心を大切に、元気いっぱい学級にしたという願いから「えがおきらきら2年生～元気いっぱい、考えいっぱい、ぼかぼかいっぱい～」という学級目標に決まった。
- 毎日の生活の中で、学級目標を意識して行動する。

係活動

- 学級全員が気持ちよく学校生活を送れるように、自分の仕事を確実にやり、明るく楽しい学級にする。
- 係だけに頼らず、気付いた人が呼び掛けをするなど、全員で協力し合う。

・時間を守れるように休み時間に仲間から声を掛けられたら、素直に聞こう。

・落とした物を拾ってもらったり、係の仕事を手伝ってもらったら、「ありがとう。」と言おう。

・朝の会や帰りの会で仲間のよいところを見つけ、認める場を設定する。

・いろいろな子と関わる機会を増やすために、席替えを定期的に行う。

・学級のみみんなで頑張っていることを学級目標と照らし合わせて、価値づける。

特別活動

- 運動会に向けてのダンス練習では、仲間の頑張りを認め、自分も頑張ることができる。
- 個人競技「ちからいっぱいダッシュ」では、頑張っている仲間を応援することができる。

朝の会

- 毎日「今日の目標」を決め、達成できるように気がついた子が呼びかけ、声をかけ合う。

・困っている人に気付いて、思いやることのできるなんて、すごいな。

・困っている人を見かけたら、進んで助けてあげよう。

・学びの手順や活動を明確にして、児童が自主的に学び続ける環境を整える。

・仲間との関わりをふやし、お互いの思いに触れながら活動できるようにする。

道徳の時間
「ぐみの木と小鳥」
内容項目 B-（6）

- 温かい心で接するよさを大切に、思いやりの心をもって生活していこうとする。

休み時間

- 学級遊びの時間を位置づけ、全員が楽しく遊べるように、話し合いで遊びを決めたり、ルールを工夫したりする。

・困っているときに助けてもらえると、とても嬉しいな。

・親切にしたほうも、されたほうも互いに温かい気持ちになるね。

・お互いの関係を和やかなものにしていけるね。

・自分の体験を交えて話せるように、同じような経験がないか、確認しながら進めていく。

・どの子も自分の言葉で思いが伝えられるように、話す活動だけでなく、書く活動も取り入れる。

社会見学

- 学級の仲間や1年生の子と楽しく活動できるように、思いやりの心を大切に作る。

中小フォーラム

- ぼかぼかの木を通して、自分たちの学級が思いやりの心で溢れていることを知り、これからの実践意欲につなげる。

帰りの会

- 思いやりの心や親切な行いを見つけ合う。
- 「今日のきらきら」
- 係活動をして気が付いたことを、発表して広める。

・相手の立場になって、周りの人の心を感じ取れるようになりたいな。

・困っている人がいたら、進んで声を掛けたりして、親切にしてあげたいな。

・周りを思いやることで、自分も温かい気持ちになれることに気付かせ、親切にしていこうという気持ちをもたせる。

・思いやりの行動ができた場合には、子どもにも声を掛けたり、「帰りの会」などで学級に広める。

家庭との連携

- 通信や学級懇談会で、児童の取り組みやその様子を知らせ、実践意欲を高める。
- 児童のよかったこと、頑張ったことを家庭に連絡する。